

田中光哉選手 東京パラリンピック テコンドー競技 61kg級代表に内定

裏方から選手への「決断」

久留米市出身の田中光哉選手が1月26日に東京パラリンピックテコンドー代表選考の試合で優勝。代表に内定しました。これまでの道のりや大会への抱負を聞きました。

次の目標はメダル獲得
田中選手がテコンドーに出会ったのは平成29年。以来3年の短期間でパラリンピックの日本代表になるという快挙を成遂げました。選手になる前はパラリンピックに関わりたいと、障害者スポーツの普及の仕事をしていました。パラスポーツに関わるうちに選手として出場したいという思いに変わり、選手を目指すことを決断。どの競技なら出場できるか模索しました。その中で、可能性を感じたのが「テコンドー」でした。

競技を始めた頃の階級は75kg級でした。有利に戦うために、3ヶ月で10kg以上減量して、61kg級になりました。有利に戦うために、3ヶ月で10kg以上減量して、61kg級になりました。

田中選手は「内定を一番喜んでくれているのは、久留米の皆様です。パラスポーツの競技を知つてもらえる機会になるよう、メダル獲得を目指し頑張ります」と意気込みを話しました。



平成4年生まれ。青峰小学校、高牟礼中学校出身

恩師や後輩へ代表内定を報告



報告会の最後に後輩からエールを受ける田中選手。昨年9月に高校生たちが田中選手に応援の横断幕を贈呈。それが試合前の緊張しているとき、大きな支えになったと話しました

2月22日、出身校の県立久留米高校で、恩師と後輩にパラリンピック出場内定を報告しました。田中選手はサッカー部に所属していた当時を振り返りながら、今後の目標などを語りました。

高校時代、練習量が足りないことから、試合で満足のいく結果を出せず、もっとやれたのではないかと自問したそう。この経験から「練習が自信につながる。取り組み方でいくらでも結果を変えることができる。限界を決めずに向上し続けることが大切」と考えるようになったと話しました。「振り返ると、最初の目標は学校の先生になると、次にパラリンピックに関わる仕事をしたい、そして選手として出場したいといろんな目標を持ってきた。目指すものを明確にして一つ一つ達成してきたことで今の自分があると思っています」と後輩に伝えました。

ICT活用で効率的に 欲しい情報をスマホで

久留米市LINE
公式アカウント開設



久留米市LINE公式アカウントがスタート。子育てや健康・福祉、おでかけ情報など、皆さんの暮らしに役立つ情報をLINEでお届けします。受信したい情報だけを選べるのもポイントです。

問広報戦略課 (☎ 0942-30-9119、FAX 0942-30-9702)



災害情報もすぐチェック

災害時にはトーク画面に、赤いマークが目印の「緊急情報」が出現。開設している避難所や道路の冠水状況などをリアルタイムに発信している市Facebookページにつながります。それ以外も、市ホームページや久留米観光サイトにつながるリンクをまとめています。

- 友だちになる
QRコード
- ① LINEアプリをインストールする
 - ②スマートフォンのカメラで左のQRコードを読み取る
 - ③久留米市を友だちに追加する
 - ④住まいの地域や受信したい情報を設定する



ホームページもリニューアル

◇見やすく、探しやすく

市ホームページも来年度にリニューアルを予定しています。スマートフォンなどの小さな画面でも見やすいように、トップページのデザインを一新。サイト内検索サービスも見直します。細かい検索条件が選べたり、結果が見やすくなったりします。

◇動画コンテンツも充実

リニューアルに併せて、市の魅力や取り組みなどを動画で紹介する公式YouTubeアカウントも開設予定です。くるっぱ動画や観光、グルメ情報など、久留米の魅力を楽しく知ることができます。

ごみの出し方に返信

「ごみを処分したいけど、燃える？燃えない？はたまた粗大ごみ？」ということがあるのでは。市のLINE公式アカウントがごみの分別方法を案内します。トーク画面で処分したいごみの名前を入力すると、分別区分や処理手数料などをいつでも答えます。

